

解 答 速 報

福岡大学 一般選抜

化学

1

問1 (3) 問2 (6) 問3 (4)

2

問1 ア: (12) イ: (14) ウ: (18) エ: (22) オ: (27) カ: (31)

問2 (i) (37) (ii) KNO_3

問3 A: CO B: CO_2
X: CaC_2O_4 Y: CaCO_3

3

問1 あ: (12) い: (15) う: (21) え: (27)

問2 (i) (3) (ii) (2)

問3 (i) (2) (ii) 塩の加水分解 (iii) 8.63 (iv) (3)

問4 12.30 問5 (2)

4

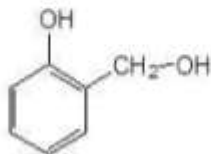
問1 ア: (13) イ: (15) ウ: (17) エ: (22)

問2 (6)

問3 様式I: (4) (5) 様式II: (3)

問4 (1) 問5 付加縮合 問6 ホルムアルデヒド

問7



～講評～

大問1は特に問題となることはありませんでした。

大問2は、混合塩の溶解度でイオンの組み換えによる塩の析出が出題され、解いたことがない人は難しかったかもしれません。水和物の質量変化と化学式は、硫酸銅(II)五水和物でよく見かけるもので、同様の変化をすることが分ければ、最終生成物がCaOであることも明示されていたので難しくはありませんでした。

大問3は酢酸を水酸化ナトリウム水溶液で滴定したときの滴定曲線とpHの計算で、よく見かけるものですが、滴下量がV(mL)と文字であらわされていたところが少し解きにくかったところではないでしょうか。V(mL)を使って表す問2の(ii)や問3の(i)はミスしやすいところと思います。

大問4は問2の樹脂の熱的性質の正誤は答えにくかったかもしれません。問4の合成樹脂の計算はよくある問題ですが、アジピン酸ジクロリドで反応させたので、H₂OではなくHClが生じることが分ければ質量保存の法則でも計算できたと思います。フェノール樹脂の付加縮合による中間生成物は与えられた反応式を見ればできたと思いますが、知らないと思ってよく考えなかった人はできなかったかも知れません。

例年通り大問4題で、大問1が小問集合、大問2がアルカリ、アルカリ土類金属に関する問題で溶解度や水和物の加熱による質量変化と化学式、大問3は滴定曲線と電離平衡、大問4が合成高分子でした。

大問3が少し難しかったかもしれませんが、全体的にはこれまでとほぼ同じような難易度であるように思われます。なので、75%くらいは取っておきたいところです。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



<p>渋谷校</p> <p>☎ 0120-142-760</p> <p>東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p>名古屋校</p> <p>☎ 0120-148-959</p> <p>名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p>大阪校</p> <p>☎ 0120-142-767</p> <p>大阪府吹田市広芝町 4-3 4 江坂第1ビル 3F</p>
<p>個別専門館 麴町校</p> <p>TEL : 050-1809-4751</p> <p>東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p>ビッグバン京都校</p> <p>TEL : 075-746-4985</p> <p>京都市下京区下諏訪町 360</p>	<p>医特塾 阿佐谷本校</p> <p>TEL : 03-6279-9927</p> <p>東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>